第１章

地域と公民館の１０年



2022（令和４）年度周西公民館地区文化祭
新型コロナウイルス感染症の影響で３年ぶりの通常開催となった。

開館10周年記念誌が発行された翌年の2016（平成28）年度から2025（令和７）年度までの周西地域と公民館の10年間の記録です。

【「主な出来事」の表記について】

ゴシック体：周西地区、周西公民館の出来事

明朝体太字：君津市に関する出来事

水色細字：全国・世界に関する出来事

・作成担当編集委員は、次の通り

2016(平成28)年度	------	廣部
2017(平成29)年度	------	廣部
2018(平成30)年度	------	小沢
2019(令和元)年度	------	小沢
2020(令和２)年度	------	川崎
2021(令和３)年度	------	川崎
2022(令和４)年度	------	古屋・川崎
2023(令和５)年度	------	古屋
2024(令和６)年度	------	朝生
2025(令和７)年度	------	朝生

・本章は、主に周西公民館だより「はまっぺ」及び「広報きみつ」を参照・引用して作成した。

２０１６(平成28)年度

主な出来事

４月

市の指定ごみ袋有料化(１日)

第19期青少年相談員委嘱
周西地区はこの期から定数が２名増え、10名体制となる(4日)

「大道沢公園ホタルプロジェクト」活動開始

熊本地震(16日)

６月

三島ダムハザードマップ作成

ＳＮＳでの写真をきっかけに清水渓流広場(濃溝の滝・亀岩の洞窟)ブーム到来

８月

君津市学校再編地区説明会開催

健康増進運動教室100会場到達

リオデジャネイロオリンピック、パラリンピック開催(５日～９月18日)

天皇陛下(当時)の「お気持ち」表明(８日)

９月

バスケットボールプロリーグ「Ｂ.リーグ」が開幕(22日)

10月

周西公民館利用サークル「周西マップクラブ」が『周西地域誌』発行

１月

稀勢の里が横綱昇進(25日)

２月

市のホームページをリニューアル

３月

公募により、周西公民館だよりの愛称が「はまっぺ」に決定

君津駅北口交通広場整備開始

市内の小中学校の耐震が完了

廣瀬隆喜選手が市民栄誉賞

リオパラリンピックボッチャ競技混合団体戦で銀メダルを獲得した廣瀬隆喜選手が君津市初の市民栄誉賞を授与されました。



写真：広報きみつ2016年11月号より

第10回周西公民館地区文化祭が盛大に!!

節目となる第10回の開催！舞台発表では、サークル・老人会等15の地域団体が、舞踊やシャンソン、詩吟等を披露しました。また、人見保育園年長児、周西中学校合唱部、君津高校ダンス部の発表も行われ、会場からは溢れんばかりの拍手が送られました。

この他、スポーツ・体験、展示、ダンスパーティー、バザー、模擬店、２分の１成人式など、様々な取り組みが実施されました。



公民館だよりの愛称「はまっぺ」に



22点の応募の中から、ギャラリー投票の結果「はまっぺ」となりました。「“はまっぺ”は浜辺のことや、浜で生計をたてる人たちのことを言った言葉。浜は無くなったが製鉄所で働く人もまた現代の“はまっぺ”」と応募者の元岡陸視さんは由来を語りました。

２０１７(平成29)年度

主な出来事

４月
新たな高速バス「君津・新宿線」運行開始(１日)

５月
神門保育園跡地に神門公園開園(１日)

６月
上野動物園パンダ「シャンシャン」誕生(12日)

７月
ソフトボール女子、U23日本代表とニュージーランド代表の強化合宿が君津市・市原市で開催(14～17日)

９月
陸上男子100m、桐生祥秀選手が日本人初の９秒台を記録(９日)

10月
中央図書館開館15周年(１日)

文化祭にて初の特別企画展「団地のある街で～地域の変化とみんなの暮らし～」(21～22日)

きみぴょんInstagram運用開始(25日)

11月
周西中学校・大和田小学校創立50周年を祝う会(11日)

２月
きみつ公式プロモーション動画が完成(14日)

平昌オリンピック、パラリンピック開催(９日～３月18日)

３月
「旧ダイエー君津店」の跡地にイオンタウン君津オープン(30日)

君津市立周西幼稚園が閉園(31日)

文化祭特別企画展「団地のある街で～地域の変化とみんなの暮らし～」

文化祭での初の取り組みとして、特別企画を実施。地域を象徴する風景である大和田団地が、再編により姿を消していることから、地域の変化や思い出、資料を展示しました。



周西中学校・大和田小学校創立50周年

1968(昭和43)年に君津中学校に併設開校した周西中学校、周西小学校から分離開校した大和田小学校が、創立50周年を迎え、「祝う会」の開催や記念誌が発行されました。



ありがとう周西幼稚園

1966(昭和41)年に開設された君津市立周西幼稚園が52年間の歴史に幕を下ろしました。３月15日には「ありがとうすさいようちえんの会」が開催され、翌日からは地域の皆さんのメッセージ・卒園アルバム・思い出写真の展示が行われました。



10月18日　最後の運動会

２０１８（平成30）年度

主な出来事

4月
島根県西部地震（９日）

5月
「周西公民館利用者運営協議会」が解散し「周西公民館利用者の会」発足（18日）
公民館ギャラリーに「周西公民館文庫」、「子ども作品展示スペース」を開設

6月
人見神社で茅の輪くぐりの神事始まる（22日）

7月
西日本豪雨により岡山県倉敷市などで河川氾濫被害発生（６月28日～８日）

9月
台風21号上陸、関西空港連絡橋にタンカー激突（４日）
北海道胆振中部地震により大規模停電発生（６日）

10月
文化祭にて漁業資料館30周年記念「海苔つけ体験」「30メートルの長い海苔巻きづくり」実施（20～21日）
築地市場閉鎖（６日）、豊洲市場開業（11日）

11月
君津市長に石井宏子氏就任（１日）

12月
祝日としての最後の天皇誕生日（23日）

1月
横綱稀勢の里引退発表（16日）

3月
周西公民館のマスコットキャラクター決定（4日）
坂田共同調理場が閉場（31日）

人見神社で茅の輪くぐり神事はじまる

茅の輪くぐりは「夏越しの大祓」という神事に由来し、大きな茅の輪を左廻り、右廻り、左廻りと３回くぐった後に本殿にお参りすることにより、無病息災、厄災除けを祈願するものです。人見神社では、６月22日の縁日に因んでこの神事が始められました。境内に直径1.6mの大きな輪が設置され、７月の半ばまで多数の参拝者が茅の輪くぐりを体験しました。



撮影・取材は、2021（令和３）年７月

周西公民館マスコットキャラクター決定

2018年の夏休みに、大和田小・坂田小・周西中のみなさんに周西公民館のマスコットキャラクターのデザインを募集し、142点の作品の応募がありました。2019年３月に審査会が行われ、次の３作品が選出されました。

最優秀賞
みどぼう（大和田小６年・長塚真穂さん）

優秀賞
すさゴン（大和田小６年・小髙颯太さん）
公馬ちゃん（大和田小６年・宮崎友哉さん）



２０１９(令和元)年度

主な出来事

4月
新元号「令和」と発表(１日)

新日鐵住金、社名を「日本製鉄」に変更(１日)

学校給食共同調理場運用開始

房総スカイライン有料道路及び鴨川有料道路の無料化(21日)

5月
徳仁親王、第126代天皇に即位。元号を令和に改元(１日)

6月
山形県沖地震、震度６強(18日)

7月
京都アニメーション放火事件(18日)

8月
広報きみつリニューアル

9月
台風15号(令和元年房総半島台風)により県下に建物被害・長期停電発生、周西地区でも大きな被害が発生(９日)公民館は12日間避難所となる

10月
台風19号(令和元年東日本台風)により中部・関東・東北に広域被害発生。周西中学校体育館が避難所開設(12日)

台風21号に伴い千葉県内記録的豪雨(25日)

1月
国内で初の新型コロナウイルス感染症確認(16日)

2月
新型コロナにより、公民館では主催事業停止などの対応が始まる（25日）

3月
東京オリンピック・パラリンピックの延期が決定(24日)

台風15号により甚大な被害発生

９月９日未明、房総半島に上陸した台風15号は、関東地方に上陸した台風としては観測史上最強クラスの勢力で、千葉県内各地に大きな被害をもたらしました。

君津市内では小糸地区で高圧線の鉄塔が倒壊、また電信柱倒壊や電線の破断も相次ぎ、その影響で広い範囲が停電に見舞われたほか、一部地域では断水も発生しました。

周西公民館周辺では、人見保育園の砂場の屋根が破損・飛来して進入路を塞ぎました。人見神社では、山頂のご神木が倒壊したのをはじめ、社務所の屋根や複数の祠が損壊、また人見山全体に多数の倒木が発生して参道が通行できなくなりました。

このほか停電中の特別養護老人ホームで、高齢の女性が死亡、また個人住宅の建物被害も多数にのぼりました。当地域においては、日頃からの防災を改めて考えさせられる大災害となりました。



倒木が重なる人見神社の鳥居



公民館前に飛来した保育園砂場の屋根

２０２０(令和２)年度

主な出来事

４月

君津市立人見こども園 開園(１日)

内みのわ運動公園市民プール閉園(１日)

新型コロナウイルス感染症の流行を受け、初めての緊急事態宣言(７日)

６月

「利用のルール」を設けながら段階的に公民館施設の利用を再開(3日)

７月

君津市LINE公式アカウント開始

９月

前年の台風15号災害の際の活動が称えられ君津市消防団が防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞(４日)

中止していた公民館主催事業再開。「すさい・まちの変化100の記憶」の取組が始まる(12日)

内閣総理大臣に菅義偉氏が就任(16日)

大和田郵便局開局50年(17日)

11月

坂田小学校創立50周年を記念して航空写真を撮影(10日)

文化祭の代替企画として「周西万博週間」を開催(29日～12月６日)

12月

小惑星探査機「はやぶさ２」から分離されたカプセルが豪州の砂漠に着地(６日)

１月

新型コロナウイルス感染症による２度目の緊急事態宣言(７日)

「成人を祝う集い」中止

人見こども園　開園

2012(平成24)年に開園した人見保育園が君津市初の認定こども園に移行しました。



新型コロナウイルス感染症拡大の影響

2020(令和２)年１月初旬に中国で感染が確認された新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出自粛、学校の休校、緊急事態宣言、休業などによる収入の減少など、前例のない事態に私たちの暮らしにも大きな影響が出ました。



屋外で、間隔を空けてのサークル活動(6月5日)

「成人を祝う集い」が新型コロナウイルス感染症拡大により中止に

「成人を祝う集い」実行委員会は開催直前までオンライン会議で準備を進めていました。年内最後の会議では予定を調整し何とか顔合わせで会議を行いましたが、感染症拡大の影響は大きく、残念ながらこの年の開催は中止となりました。



成人を祝う集い実行委員会会議の様子(12月)

２０２１(令和３)年度

主な出来事

４月
君津高等学校創立50周年
君津高等学校と上総高等学校が統合。普通科・園芸科の２学科設置
大和田小・坂田小、統合前最後の入学式(7日)

５月
坂田小学校で約20年の時を経て創立30周年時のタイムカプセルを発掘(29日)

６月
新型コロナウイルスワクチン接種開始

７月
東京オリンピック・パラリンピック、無観客での開催(23日～９月５日)

９月
君津市制施行50周年を迎える(１日)
周西中卒業生の綾小路翔さんが「きみつ大好きだぜ！応援團」團長に就任(１日)
東京パラリンピックボッチャで廣瀬隆喜選手が銅メダルを獲得(４日)
横綱白鵬引退発表(27日)

10月
内閣総理大臣に岸田文雄氏が就任(４日)

11月
歌詞を公募した周西公民館の歌「きらめき」が完成し、文化祭特別企画にて披露

12月
神門コミュニティセンター第１回竹灯籠祭(22～25日)

２月
北京オリンピック、パラリンピック開催(４日～３月13日)
ロシア・ウクライナ間での全面的な武力衝突が発生(24日)
「令和版君津ふるさとかるた」完成

３月
ＪＲ君津駅「みどりの窓口」営業終了(３日)
『すさい・まちの変化　100の記憶』発行
ホテル千成、48年の営業を終了(31日)

周西の丘小学校に校名決定

少子化をはじめとする様々な時代の変化により、君津市内でも小中学校の統合が進みました。わが周西地区も、新日鉄(現日本製鉄)の進出によって一気に人口が増え発展してきましたが、丘の上３校もいよいよ変革の時期となりました。統合後の新しい校名は2020年８～９月に募集が行われ「周西の丘小学校」となりました。



坂田小学校最後の入学式の様子

周西公民館の歌「きらめき」

コロナ禍の公民館の活動として、周西公民館の歌の制作が行われました。地域のみなさんから歌詞を公募し、補作詞・作曲:大河原館長（当時）、編曲:山崎智さんにより完成しました。

朝日に輝く　小糸川
春には桜の　散歩道
柔らかな日差しの中　鶯も鳴きわたり
人と人とのふれあい　笑顔満ちあふれ
明日もまた来たい　周西公民館

成人を祝う集い、２年ぶりに開催

１月９日、前年度は中止となった成人を祝う集いが開催されました。君津市民文化ホール中ホールを会場に感染症対策を徹底して行われ、当日は91名の新成人が参加し、人生の節目を共に喜び合いました。


間隔を空けて着席

２０２２(令和４)年度

主な出来事

４月

周西の丘小学校 開校(１日)

公民館を含む市内公共施設で施設予約システムによる予約受付　開始(１日)

民法上の成人年齢が20歳から18歳に引き下げられる

君津市、ウクライナからの避難民受け入れ

５月

ＭＬＢ大谷翔平選手、日本人最速のメジャー通算100号ホームラン(15日)

７月

君津市の魅力がラッピングされた高速バスの運行開始(１日)

安倍晋三元首相銃撃事件(８日)

人見神社祭礼、３年ぶりの開催、神馬(おめし)が奉納される(23日)

９月

君津市、９月１日から年度内までの学校給食の無償化

10月

西地区敬老会が４年ぶり開催(９日)

第１回坂田ふるさと祭開催。坂田ふるさと音頭を一般披露(10日)

11月

対面の発表が３年ぶりとなる第16回周西公民館地区文化祭開催(５～６日)

12月

きみさらづ聖苑　供用開始(１日)

１月

「20歳のつどい」開催。周西公民館が会場となったのは３年ぶり(８日)

３月

君津台自治会作品展３年ぶりに開催(４～５日)

人見神社祭礼　３年振りの開催

2020(令和２)、2021(令和３)年は、新型コロナウイルス感染症防止の為、儀式のみ行われた人見神社祭礼が実に３年ぶりに開催されました。

感染症対策を講じながら君津市指定の無形民俗文化財「神馬(おめし)」やお神輿(車両での運搬)も奉納されました。



「神馬」の一場面

対面での発表は３年ぶり！
第16回周西公民館文化祭開催

新型コロナウイルスが私たちの日常を脅かし始めたのが、2020年が明けた頃のことでした。感染症対策のため、2020年度は中止(代替事業を実施)となり、2021年度は企画したものの、舞台発表は録画の上映となるなど、スタイルや規模も変更しての開催でした。

そして迎えたこの年の文化祭。発表・体験・展示・販売の４つの分野と『特別企画』という構成で企画し、42団体が参加。従来のスタイルに近い形で開催することができました。何といっても舞台発表が対面で実施できたことが嬉しかったですね。



特別企画として「土地区画整理組合記念碑巡り」

２０２３(令和５)年度

主な出来事

５月

新型コロナウイルス感染症が「５類」移行し、日常生活が戻る(８日)

７月

周西公民館利用者の会「サークルの輪」創刊(１日)

第27回君津市シニアクラブ会員芸能大会にて、大和田倶楽部が団体最高賞の君津市長賞を獲得(７日)

人見神社祭礼で神輿渡御・お囃子の奉納・餅撒きが再開(22日)

コロナ禍での３回中止を経て「きみつサマーフェスタ」開催(23日)

８月

４年ぶりに、夏祭り・盆踊りが大和田・人見・神門で開催(11日)君津台夏祭り開催(26日)

10月

４年ぶり開催された君津ふれあい祭りの「いやさか君津踊り」に君津台地区有志が連で出場（１日)

藤井聡太、将棋界史上初の八冠独占を達成(11日)

１月

能登半島地震(１日)

周西の丘小学校にＭＬＢ大谷翔平選手からのグローブ３つが届く(15日)

２月

千葉県初開催Scavenger and Quiz Rally(SAQR)の表彰式が周西公民館で実施(９日)

３月

元周西分館の建物であった君津市地域福祉推進センターゆうゆう館が閉館(31日)

コロナが５類に移行
夏祭り・盆踊りが復活！

７月は、坂田駅前公園をメイン会場にして、きみつサマーフェスタ2023が開催。８月には、大和田・人見・神門の各地区で盆踊り大会、ちょうすけやま公園での君津台夏祭りが実施されました。

長期間の「お祭りから離れざるをえない生活」から解放され、大人から子どもまで全世代が楽しみ、笑顔があふれる夏となりました。



きみつサマーフェスタでのイルミネーション



君津台地区有志　「いやさか君津踊り」に参加

「20歳のつどい」にて

1923年に起きた関東大震災から100年の節目の年であり、防災意識を高めようと様々な報道がされました。そして、2024年元旦、能登半島地震が起きました。

１月７日に行われた「周西公民館20歳のつどい」では、能登半島地震の被災者への黙祷を行いました。

新型コロナウイルスの猛威により様々な行事が中止となり、日常生活の制限など息苦しい生活を余儀なくされた高校時代を過ごした20歳のみなさんが、「感謝と精進」を目標に掲げ、素晴らしいつどいとなりました。

２０２４（令和６）年度

主な出来事

４月
「君津ファンクラブ」スタート（１日）
みふねの里保育園開園（30日）

６月
「きみつ地域づくり協議会」周西地区設立準備会がキックオフ（17日）
周西公民館だより「はまっぺ」が第74号よりカラー印刷になる（20日）

７月
日本銀行新紙幣発行（3日）
パリオリンピック、パラリンピック開催（26日～９月８日）
すさい子どもキャンプ５年ぶりに開催（27～28日）

８月
米不足問題が顕在化（令和の米騒動）

９月
パリパラリンピックボッチャで廣瀬隆喜選手銅メダル獲得（５日）

10月
内閣総理大臣に石破茂氏が就任（１日）
松本ピアノを市長応接室に設置しコンサート開催（30日）
「さかなクンと一緒にSDGsを考える～小糸川源流の生き物調査～」開催（31日）

１月
豊昇龍が横綱昇進（19日）

２月
周南中学校にて「松本ピアノレクチャー＆コンサート」開催（15日）

３月
千葉ロッテマリーンズファーム本拠地の君津市移転が発表（25日）

５年ぶりにすさい子どもキャンプ開催

周西地区青少年相談員連絡協議会と周西公民館が主催する「すさい子どもキャンプ」が公民館にて開催されました。コロナの影響もなくなり、５年ぶりの再開。今回は防災をテーマにして、ハイゼックス炊飯、心肺蘇生法、カートンドック、プライバシーテントなど、災害時に役立つアイテム利用や学びがありました。



ハイゼックス炊飯

はまっぺがカラー印刷に

印刷技術も進化をつづける昨今、以前と比べてカラーも白黒も印刷のコストがさほどかわらなくなってきた中で、市内のあらゆる地域情報紙もカラー刷りが多くなってきました。はまっぺも地域住民の声を受けて、いよいよ第74号よりカラー印刷になりました。



カラー印刷最初の号の一面

２０２５（令和７）年度

主な出来事

４月

非常勤職としての公民館長が廃止され、常勤職員が館長を務めることになる

消防団の統廃合。地区内は第８分団・10分団の２団体制となる

君津高等学校の制服が新しくなる

大阪関西万博開幕（13日）

５月

大の里が横綱昇進（28日）

６月

君津市と福島県相馬市が災害時相互応援協定を締結（30日）

７月

旧大和田小校舎の利活用（大学開設）についての説明会開催（３日・12日）

人見神社例大祭にて45年ぶりに新調された幟旗披露（20日）

８月

群馬県伊勢崎市で国内観測史上最高の気温41.8℃を記録（５日）

９月

周西の丘小学校が旧大和田小学校校舎から旧坂田小学校校舎へ移転し登校開始（３日）

地域活動組織「周西ファンＢＡＳＥ」発足（28日）

10月

内閣総理大臣に女性として初めて高市早苗氏が就任（21日）

12月

マイナ保険証制度スタート（２日）

２月

ミラノ・コルティナオリンピック、パラリンピック開催（６日～３月15日）

周西の丘小学校、新たな校舎へ！

2022（令和4）年、大和田小学校と坂田小学校が合併し、周西の丘小学校となりました。児童たちは旧坂田小学校校舎の改修が終わるまで、旧大和田小学校の校舎に通っていましたが、９月３日より旧坂田小学校をリニューアルした新校舎に通うようになりました

一学期の終わりには思い出作りに旧大和田小校舎にて、全校児童、先生みんなで学校かくれんぼ。夏休み中には地域の方々に向けた新校舎お披露目会を経て、新たな校舎に引っ越しました。

また、７月には、旧大和田小学校校舎がスポーツ系の大学として利活用される説明会が行われました。



新校舎移転記念航空写真

自分たちの周西地域を盛りあげたい！地域づくり協議会「周西ファンＢＡＳＥ」

一年余りの設立準備会での協議を経て、地域活動組織「周西ファンＢＡＳＥ」が22名の会員により発足。「つなぐ」をキーワードに地域の情報発信やイベント等の企画に取り組むこととなりました。

10月24日には、市から「地域づくり協議会」の認定を受けました。



９月28日設立総会

特集　2016-2025

台風・大雨災害 と 新型コロナウイルス
あのとき私たちは

この10年間を振り返ってみると、私たちの暮らしや地域に大きな影響を及ぼしたトピックスとして、2019年の令和元年房総半島台風とそれに続く大雨災害、2020年からの新型コロナウイルス感染症の２つが挙げられるだろう。

あのとき、地域は、公民館は、わたしたちは、何を感じ、どのように行動していたのか―。地域の“歴史”のひとつとして、記録したい。

2019年の記憶
令和元年房総半島台風と大雨災害

希望に満ちた新時代「令和」の幕開けとなった2019(令和元)年。君津市を含む房総のエリアは、９月９日房総半島を縦断した台風15号(令和元年房総半島台風)をはじめ、10月12日には台風19号。さらに同月25日に台風21号の襲来と三度(みたび)の被害に見舞われた。

周西公民館では、地域にある公民館の役割として、身近な地域の様子や、人々の行動・気持ち・考えたことを記録していきたいと、記録冊子『令和元年　台風15号･19号・大雨～私たちに残したもの・問いかけること～周西公民館地区の記録』を2020(令和２)年３月に発行した。これには、周西公民館が避難場所に指定された９月９日(月)から９月20日(金)の12日間の様子と地域の声が記録されている。

以下の１～５は、その抜粋である。

１　周西公民館　台風15号における避難所運営の様子

周西公民館の記録と職員メモを基に避難所運営の様子と公民館の動きについて記載した。

■９月９日(月)

・６：00ごろから　職員随時出勤：吹込み水濡れの対応、飛散していた選挙用看板や自転車小屋の屋根を回収、駐車場や屋上の排水口を塞いでいた落ち葉や泥を除去

・午後から　避難所開設準備(公民館職員)
①情報ボートの設置　②多目的ホールに区画ラインを引く　③避難場所の設定(一般は多目的ホール、ケアが必要な方は和室など)　④人見仮運動場を仮駐車場とし、駐車場案内看板の設置(公民館駐車場への進入が不可能だったため)　⑤発電機の配置と延長コードなど設置

・16：00　避難所開設(避難所開設要員：公民館職員+市役所より１名)

・物資：防災倉庫から飲料水とサバイバルフード、避難者からの差し入れもあり。

・発電機(２機)で、照明・扇風機・充電(充電には多くの需要)を対応。

・公民館の電話は不通。災害対策本部との連

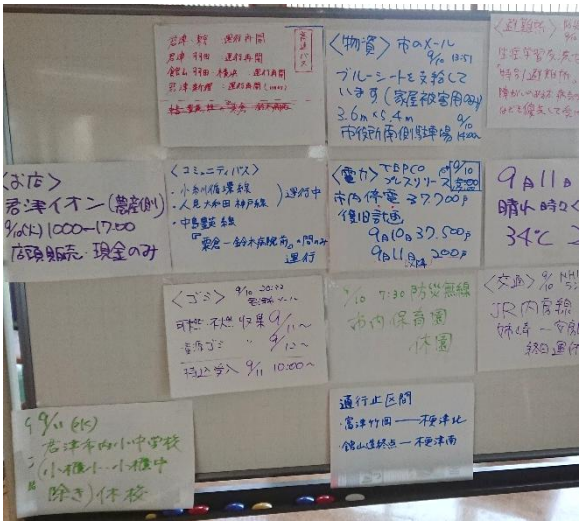


９月９日　公民館前に飛来した人見保育園(当時)の砂場・倉庫の屋根

絡手段として、職員個人の携帯電話を公民館の代理電話として設定。徐々に通話が難しくなる。翌日には、屋外に出ても、音声が途切れる。
・停電についての情報を求める人多数。職員がスマートフォンで得た報道情報を可能な範囲で提供。
・避難者は８世帯16名（おとな10・こども６）。うち、宿泊は５世帯９名（おとな７・こども２）

■９月10日（火）
・公民館利用や各種事業の長期間の中止を判断。電話連絡を試みるも、双方が携帯電話であり、充電や通信状況の不安定化により連絡困難。
・物資　近隣スーパーより：パン・菓子類
・充電の需要が引き続き多い。50％での交代をお願いし、一部整理券の配布も。
・周西公民館区域でも断水が広まってきた様子が見られた。
・発電機用のガソリンの補給を本部に求めるも、市としてガソリンを確保するのが困難な状況であるとの連絡。夕方、補充が届くも十分な量ではなかったため、夜間の照明と扇風機を優先し、携帯電話などの充電を断る。苦情もあり。
・暑くて寝苦しい夜。深夜になって「暑いので」という理由で避難される住民もあり。
・宿泊避難者　４世帯７名（おとな７）

■９月11日（水）
・１：20ごろ　周西公民館の電気復旧。それに伴い、避難者も一部は帰宅。
・20:30頃　本格的に物資が届き始める。（バナナ、各種パン、豆乳飲料、スポーツドリンク、飲料水、液体ミルク等）すぐに食べられるパンが喜ばれる。
・周西公民館より、西地区社会福祉協議会・シニアクラブ役員に、公民館に物資が届いていることを連絡し、情報や物資の共有を促す。
・宿泊避難者　４世帯６名（おとな６）



9月11日　避難所３日目の掲示ボード

■９月12日（木）
・給水車〔自衛隊・他自治体応援〕の配置。（～翌13日まで。その後は公民館の水道から給水対応）
・この日から、民間・個人による支援物資が届き始める。
・各地から調査や視察目的の来館あり。
・９月10日より市役所等で屋根補修用のブルーシート配布が始まっていたが、周西公民館にも問い合わせが出始める。（周西公民館は配布場所にはならず）
・来館者に、車を持たないご近所、親戚、停電断水地域に物資を配ってもらうことを声かけ始める。
・宿泊避難者　２世帯４名（おとな４）



9月12日夕方　周西公民館前に配置された給水車

■９月13日（金）
・宿泊避難者　２世帯４名（おとな４）

■９月14日（土）
・夕方、公民館の主催事業の参加者や関係者で、メールアドレスが分かる方（約50名）にメールを送信し、①社会福祉協議会が、災害ボランティアの受け入れに向けて被災者のニーズ調査を行っており、周西公民館でも受付可能　②周西公民館に物資が届いている。車が無く公民館まで来館できない方の代わりに取りに来ていただき、届けていただくことが可能　③周西公民館は避難所として24時間対応。電気も水あり。停電地区にご友人などいれば、伝えてほしい。　の３点を連絡。
・近隣のスーパーにはほぼ商品がそろう状態。
・宿泊避難者　１世帯３名（おとな３）



屋外に設置した看板

■９月15日（日）
・周西公民館地区は概ね電力は復旧。
・食料を求める人は極端に減った印象。来館のニーズの多くが給水や飲料水になった。
・夜間から明朝の雨を心配して、避難する方が一世帯増。
・宿泊避難者　２世帯４名（おとな４）

■９月16日（月）
・宿泊避難者　１世帯３名（おとな３）
※以降、避難所閉鎖まで同。



9月15日ごろ自動ドア前


ギャラリーで配布していた物資の様子

■９月17日（火）
・かずさ水道広域連合企業団ＨＰによれば、周西公民館地区はこの時点でほぼ断水から復旧。（ただし、場所や住宅地の事情によっては、引き続き不便な場所も。公民館把握最終情報　９月19日　16：30）
・周西公民館が給水場から外れる。希望者には引き続き対応。

■９月18日（水）
・給水の希望も減り始める。半日に数人程度。物資を取りにくる人が固定化。

■９月20日（金）
・周西公民館は避難所としては閉鎖。

■９月25日（水）
・通常開館に戻る。一方で、ブルーシートや罹災証明書についての問い合わせ来館も。

２　令和元年周西公民館地区文化祭アンケート結果

２つの台風と大雨により準備に遅れがあったものの、2019(令和元)年11月2日(土)・3日(日)には第13回周西公民館地区文化祭が開催された。文化祭では急遽、今回の主に台風被害を振り返るアンケートを実施した。以下はその結果である。

---

(１)名称:令和元年 台風15号･19号アンケート

(２)対象：周西公民館　来館者

(３)期間：11月２・３日(文化祭)～17日

(４)回答数：23名

(５)アンケート項目

①住まい(地区)：坂田・東坂田・西坂田・君津台・大和田・人見・神門・その他

②性　別

③年　代：10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・それ以上

④台風15号・19号の被害状況や、どのように過ごしたのかを教えてください。

⑤振り返ってみて思うことやこれからに向けて考えることがあれば教えてください。

1	君津台　女　こども ④こわかった。
2	君津台　女　10代 ④家では15号は停電・断水。19号はなし。 ⑤準備をしっかりする。
3	君津台　女　10代 ④停電・断水。
4	西坂田　男　20代 ④停電していたが家族と話をして時間をつぶした。
5	人見　男　20代 ④２日間停電をしていて、家にあったライト又は車の中で泊まっていた。 ⑤灯油とか食料の準備が必要だと思った。
6	人見　女　20代 ④長時間の停電。ガスは使用できたため、それで過ごした。キャンプ用のランタンを使用。 ⑤被害があることを想定して準備しておく。
7	中野　男　30代 ④15号では家の雨戸や外に置いてあったものが飛んだ。 ⑤備蓄が大事(ランタン・電池)。停電が長引くと情報が手に入れづらくなる(ネットもダメでラジオしか使えないが、ラジオの情報では足りない)。
8	人見　男　50代 ④避難所にいた(運営側)。長時間の停電は、断水になり、基地局のバッテリーがダウンすることでスマホが使えなくなることをどれだけの人が理解していたでしょうか？台風は予想できる災害。スマホの充電は事前にできたはず。公民館には災害用特設公衆電話があったはずなので、通信はできたはず。 ⑤事前の備えがいかに大切か痛感した(ブルーシート、土嚢袋、生活水など)。
9	坂田　女　70代 ④15号：ベランダの屋根が飛んであちこち散らばって大変だった。停電は割りと早く解消した。19号：あまり被害はなかった。 ⑤前もって情報をもっと集めておけば良かった。準備不足だった。
10	西坂田　男　70代 ④横浜在住の娘宅に疎開した。大変怖かった。帰宅後は、地元自治会での町内復興作業に追われた。 ⑤住民一人ひとりが防災意識を身につけ、ハザードマップを常に気をつけ、防災に努めていただくことが大切。今後、このクラスの台風は継続発生する予知がなされており、我々の心の準備をおこたりなくすべきであろう。
11	西坂田　男　70代 ④15号：２階の下がり棟瓦が３m程はがれた。その瓦が１階に落ちて1階の瓦も２枚程度割れた。 19号：15号で被害のあった棟瓦を応急処置しておいたが、応急処置のシートが19号で再びはがれた。

	⑤屋根瓦の点検・補修をきちんとやっておくべきだった。
12	君津台　男　70代 ④台風15号の時に窓ガラスが破損。 ⑤今後同様の台風が来るということを頭に入れて準備が必要だと心から思った。
13	大和田　女　70代 ④風当たりが強くて少しキズを負った。１日目の停電、心細かった。２日目より娘宅に強制的に連れて行かれたが、次の日に通電。ほっとした。
14	人見　男　70代 ④屋根瓦(１階・２階)計60枚破損落下。カーポート、雨樋破損。２日間停電　水風呂、ガスでメシ炊く。電気のありがたみがわかった。 ⑤台風19号は伊豆半島に上陸したので水害は無かったものの、もし房総にきていたら、小糸川は大丈夫だっただろうか。周西中に避難したが満員で門前払い。堤防が切れるか、溢れていたら大きな被害がでていたと思う。もう一度ハザードマップを見直してほしい。避難場所を拡大してほしい。
15	人見　男　70代 ④２日間の停電で済みましたが、残暑厳しかったので暑くて閉口しました。 ⑤台風19号が房総に上陸していたら、周西公民館も自分の家も水難にあっていたかも知れません。
16	人見　女　70代 ④15号のときは、田舎に帰ってしまいましたので、帰った日は水道も電気もついていました。19号の時は何もなく通りすぎました。
17	人見　無　70代 ④公民館に避難!人でいっぱいだった。 ⑤近所の人はみんな家にいた。でも避難した。考えることが多かった。
18	神門　女　70代 ④雨漏り少々。自宅で過ごした。 ⑤神門は川が近いので、大水を心配したのですが、幸い大丈夫でした。停電で冷蔵庫の中の物が大変。充電器の用意が必要。
19	中富　女　70代 ④家のうだつ用(？)のトタンがめくれてしまう。雨漏り。

	⑤電化生活にも欠点があり、いざという時の対応を考慮したい。
20	中野　男　70代 ④自宅で過ごした。ガラスの補強 ⑤心構えが大切。電気の大切さ、停電対策を考えます。
21	富津市　女　70代 ④７日間停電しましたが、断水がなかったので、トイレ・ご飯炊きなど、不便無くて助かった。大きな被害にあわれた人達の事を考えると心が痛みます。
22	西坂田　女　80代 ④家の応接間が雨もりしまして大変でした。どうにかタオルで拭き取り、絨毯ですので何度か足踏みをし、大人用のオムツを敷き、一夜を過ごしました。大きなごみ袋が重かったです。 屋根瓦もとびましたが、雨漏りはなくブルーシートで、19号の時は、雨が降っていたときシートが全部とんでしまいました。 ⑤電気のありがたさをつくづく感じました。ガスは使うことができました。 ・台風前に御飯はたくさん炊きました。 ・ラジオの情報を良く聞き判断しました。 ・20日朝早く、取引先の電気屋さんに電話し、携帯電話の充電と電池の注文に出かけましたが大変な人でした。 ・水と食料はいつも用意しておく ・冷凍庫はいつもいっぱい ・冷蔵庫は使用以外に開けないよう心掛けました ・トイレは風呂の水で(夜風呂の水はすてないこと) ・給水車に生活用水を頂いてきたこと ・21日木更津の電気屋さんよりポリタンク・ペットボトル届けてくれた。となりにも使ってくれるよう頂いた
23	人見　女　80代 ④停電でエアコンが使えず電気の有難さをつくづく感じた。車内でテレビの情報、クーラーで涼をとりました。 ⑤断水がなく電気より水のありがたさ。被災地のつらさを短日経験した。

３　周西幼児家庭教育学級（たんぽぽ学級）自主活動における情報交換

周西公民館で主催する周西幼児家庭教育学級(通称　たんぽぽ学級)は、乳幼児期の子どもを持つ保護者を対象に、年間10回程度のプログラムを実施している。

2020(令和2)年1月14日(火)には、学級生からの希望もありプログラムとは別の「自主活動」として、フリートークを実施し、台風15号・19号の振り返りや災害についての情報交換を行った。

●Aさん〔人見〕

９月８日(日)に里帰り出産から自宅へ帰ってきた。夫は台風対応のため家におらず月曜日は停電のなか、長く不在にしていたため家の中を整理して過ごした。一日外に出ず、情報も入ってこないため状況がわからず不安であった。月曜の夜に再び実家へ戻った。アクアラインで木更津に入った途端まっくらで、迎えに来た家族も驚いていた。家から出て、情報を得ることが大切だと感じた。

●Bさん〔西坂田〕

９月９日(月)の昼間に鉄塔が倒れたことをどこからか知った。10日(火)から15日(日)まで夫の実家に避難した。ちょうど買いだめした後で、冷蔵庫の中の食べ物がたくさん無駄になってしまった。

19号の時も20時間くらい停電した。

●Cさん〔東坂田〕

15号では、３日目(11日(水))の夜に電気が復旧したが、その後１日断水があった。子どもが通う幼稚園は休園しなかったため、信号が機能しない中での送迎は大変だった。小学校は休校したので兄弟が休みの中登園することは子どもにとっても負担だったようだ。

非常食は普段から備えてあったが、情報が中々得られず、防災無線も聞き取りづらいためラジオを買おうと思った。太陽光の自立機能で昼間は冷蔵庫が使えたが、洗濯機は電力不足で使えなかった。



●Dさん〔人見〕

太陽光の自立機能で洗濯機等使えた。家族が多いと懐中電灯も数本必要だと感じた。

外壁がへこんでしまったため、り災証明書を取得したが、手続き時はとても混んでいた。

学校が休校になったので、冬休みが短くなったりするのかと思っていたが…。休校期間の補習等どうなっているのか気になっている。

●Eさん〔西坂田〕

２日目に実家に避難したが、その日に電気が復旧したので一泊して君津に戻った。

しかし断水があり、出るようになっても色があった。飲めるかどうか問い合わせをしたら、飲まないほうがよい、飲めるようになったら連絡すると言われたが、その後そのような情報提供はなかった。一週間位で透明にはなったが、しばらく煮沸して使用していた。水に関する対応にはいまだに疑問を感じている。

乳児がいるので、離乳食の備えも必要だと感じた。

●Dさん〔人見〕

２日間ほど停電した。初日は暑くて、荒天のため窓も開けられず音もうるさかった。寝室ではなく、家の中で一番音がしない部屋で寝た。

太陽光の自立機能に当初気が付かなかった。気が付いてから冷蔵庫をつなげたが、あまり冷えていなかった。電力が少なく、洗濯機も使用不可。通電して、冷蔵庫が元の機能を有するのに２日程かかった。携帯電話が全く使えなくなってしまい困った。

車のガソリンについては、普段から残量が

半分になったら入れる習慣があったので、慌てて並ばなくて済んだ。

●Ｃさん〔東坂田〕
台風後、どのような対策をしているか。
〔各参加者から〕
・家の周りの補強。
・お水とおむつは備える。
・ラジオ(今回は台風直後の報道は少なかった)。
・防災の家というのを見学に行って、まだまだ自宅は備えが足りないと感じた。
・非常食を家族３日分(段ボール１箱相当)備えている。賞味期限が近くなったら子どもに食べさせている。はじめは物珍しく喜んで食べていたが、あまりおいしくはないようだった。子どもが好きなお菓子等も備えている。
・４つに分割する懐中電灯が便利。
・ソーラー式のラジオを購入した。手回し式は結構回さなくてはいけなくて大変。

４　地域課題解決支援事業「私たちの防災・災害対応」概要

周西公民館では、令和元年度より課題解決支援の視点を持った事業として、「地域課題解決支援事業」に力を入れて取り組むこととした。5月には住民有志と「地域課題(お困りごと)調査隊」を組織し、8月からは今後取り組むべき地域課題を検討するため、アンケート調査(回答133)を行った。

アンケート調査からは、「高齢化」・「災害・防災」・「地域のつながり」が“地域のお困りごと(課題)”として多くの意見を集めた。また、これらを検討していく過程において、２つの台風を経験した。

そこで、地域課題解決支援事業では「高齢世帯と防災・災害対応」をテーマに設定し、学習活動に取り組むこととなった。

以下は、2020(令和2)年2月5日(水)に実施した第1回学習会の概要である。(予定していた第2回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となった)

- 令和元年度　地域課題解決支援事業　第１回　学習会
- 日時：2020(令和２)年２月５日(水)　9：30～11：30
- 場所：周西公民館会議室１・２
- 参加者：男性12女性13(地区内19、地区外６)

〔第一部〕情報交換会
台風１５号・１９号　そのときあなたは…
～今回の台風の際の高齢世帯の経験談をお聞きします～
(高齢者学級の学級生５名＆ 会場のみなさんにインタビュー)

①実際に困ったことはどんなことでしたか？
・防災無線が聞こえない。情報が入ってこない
・携帯電話がつながらない。一人暮らしの人に連絡が出来ずに車で回った。
・屋根に穴があいた。増水中だったため、最寄りの周西公民館は避難所として使えないとのこと。市役所に問い合わせたら、ハザードマップでは近隣に避難所があるはずなのに、何の説明もなく生涯学習交流センターや文化ホールを指示された。遠いところを言われても、風雨の中に避難できない。
・応接間が雨漏りした。子どものおむつを敷いて水を吸わせたが、重たくなってしまった。
・近くに住む兄夫婦(身体障害者手帳あり)の手伝いの約束をしていたが、夜中の強烈な台風で自分の車では移動できず、役に立たなかった。19号ではどうするかを確認したら、事前に避難所での様子の情報も入っていて、自宅にいるとのことであった。
・周西公民館は大雨や台風では避難所にならないが、私の住む地域は、その増水した川の橋をわたって、遠くの避難所に避難することになる。
・ブルーシートの配布があったが、「全員に２枚」という配布は本当に有効に使われたのか疑問。

・ブルーシートは自治会館で配ったり、地域役員に配ることを依頼したり、工夫があればよかった。
・屋根瓦の修理が業者の手配がつかずに困った。建てた業者に頼むのが良いが、大工さんの家も被災しているような状況だった。

②こうしておけばよかった、こんなサポートが欲しかった ということはありますか？
・普段の備え（水・食料）
・ペットボトル３本を冷凍して、停電時は冷蔵庫に入れている。
・個人で避難することが難しいひとには、避難する手段を。例えば、バスや公共の大型車など。幼稚園のバスなどの手段もある。自治会に入っていない人は把握できないが。
・冷蔵、冷凍の食品がどうやれば長持ちさせられるのか、どの程度まで食べられるのか、などの情報が欲しかった。
・停電解除後、すぐに洗濯をしたら、断水になった。節水の呼びかけなどの情報が欲しかった。

5　台風15号　周西公民館及び周西公民館地区の状況（周西公民館調べ）

①周西公民館施設
- 吹込みによる館内水濡れ、隣接保育園の砂場・倉庫の屋根飛来、倒木、自転車小屋屋根飛散、選挙看板飛散　他
- 停電（～９月11日（水）午前１：20）　断水は無し

②周西公民館地区
- 停電：～９月15日（日）
- 断水：９月10日（火）～17日（水）

※停電・断水の解消は、地区や個別の条件などの事情により、差があった。

◆　地域行事：周西中学校体育祭延期（９月14日→９月20日）、敬老会中止（10月６日）

◆　学校・保育園：人見保育園再開（９月11日）、大和田小学校、坂田小学校、周西中学校再開（９月13日）

◆　９月17日　公民館だより編集委員と職員により撮影　他


人見仮運動場横の倒木


人見神社　御神木と納札所


大和田郵便局交差点　電線への飛来物

2020年からの記憶
新型コロナウイルス感染症と公民館・地域・暮らし

「三密」「ソーシャルディスタンス」「アベノマスク」「ステイホーム」「新しい生活様式」「GoToトラベル」「まんぼう」――。「コロナ禍」において、私たちの日常生活を覆い尽くしていた言葉の数々である。2026（令和８）年の今日、それらにどこか懐かしさを感じること自体、当時は想像もできないことだった。



政府から全戸配布された布製マスク（2020年）

2020（令和２）年の１月初旬に中国で感染が確認された新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に広がり、私たちの暮らしのいたるところに大きな影響を及ぼした。

不安、不便、会えない寂しさ、そして感染の恐怖。私たちはかつてない経験をした。そして、その被害に苦しむ人は、今もいる。

この数年間の出来事は、地域の学びと交流の拠点である公民館に、そして私たちの暮らしに何をもたらしたのだろうか。

将来、再びこのような「想定外」の事態が起こるかは誰にもわからない。しかし、この苦難の中で得た経験と教訓は、必ず将来の地域を支える糧になるはずである。開館20周年の節目に、「ウィズ・コロナ」での公民館・地域の歩みをここに記録していく。

１　感染症と公民館の状況

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の状況と、当時の公民館の様子をまとめたものが表１である。また、休館や使用・活動の制限と緩和の経緯を表２にまとめた。

2020（令和２）年の２月の段階で、市の方針


手作りの飛沫防止卓上シート

により公民館事業は中止または延期となる措置が始まった。その後、３月に入り政府の要請により学校が全国一斉休校になり、君津市の公民館も休館となった。

この期間、君津市の公民館では地域や暮らしに少しでも役立つことを模索し、家庭時間が多くを占めるようになっている日常に役立つ情報を「ご活用ください」と題して、ホームページで情報発信することを始めた。周西公民館では当初、休校になっている子どもたちに目を向け、それ以前に実施した青少年事業のプログラムの一部から家庭でできる工作や遊びの情報を掲載した。その後には、地区公園マップ（2020年5月）、簡単手作り！飛沫防止卓上シート（同）、家庭内でのコミュニケーションに向けて～傾聴とは？～（2020年12月）、おうちでストレッチ（2021年１月）、子どもの遊び情報（2021年3月）とその展開を広げていった。また、2020年４月からは、コロナ禍での地域とのコミュニケーションツールの１つとして、ホームページ上で「周西公民館日記」の連載を始め、職員が３人のマスコットキャラクターとして交代で公民館の日常を綴った。

大変な時期に公民館のホームページを日々見ている人などいないのではないかと思いつつも、公民館が歩みを止めていないことを発信し、心身共に閉ざされた環境にいる地域のみなさんと公民館を繋ぎ続ける唯一の糸として、かろうじて紡ぎ出した取り組みだった。

当時の職員のメモには、公民館使用サーク

表１　新型コロナウイルス感染症と公民館の状況

2020(令和2)	
1 月 16 日	国内で初の新型コロナウイルス感染症確認
2 月 21 日	市の方針により、公民館主催事業の中止などの対応を始める
3 月 3 日	感染拡大防止の観点から君津市公民館〔市内の8公民館。以下同〕休館★
3 月 4 日	学校一斉休校などにより家庭時間が増えたことに伴い、君津市公民館が HP 発信「ご活用ください」に取り組む。周西公民館では第一弾として工作や遊びの情報を掲載
4 月 7 日	政府から初の緊急事態宣言が発出される(千葉県を含む7都府県)
4 月 15 日	公民館職員からも市のコロナ対応関連業務へ応援動員
4 月 15 日	コロナ禍での地域とのコミュニケーションとして、HP 上で「周西公民館日記」の連載を始める。3人のマスコットキャラクターが交代に、公民館の様子などを日記形式で情報発信
4 月 30 日	周西公民館 HP に「とりもどそう、日常。乗りこえよう、みんなで」のメッセージを掲載
5 月 22 日	周西公民館「飛沫防止手作りシート」を設置し、つくり方を配布
6 月 3 日	5 月 25 日の緊急事態宣言解除に伴い、条件付き再開★
6 月 4 日	周西公民館だより「はまっぺ」58 号　新型コロナウイルス感染症の影響などの特集
6 月 24 日	国の 6 月 19 日の「ステップ2」への移行を受け、公民館使用についての条件緩和★
7 月 15 日	国の 7 月 10 日の「ステップ3」への移行を受け、公民館使用についての条件緩和★
7 月 22 日	周西公民館地区文化祭の中止を決定し、サークル等に通知
9 月 1 日	君津市公民館主催事業再開。周西公民館では 9 月 12 日、地域課題学習講座「すさい・まちの変化 100 の記憶」第一期学習会を開始。
9 月 4 日	当館防災倉庫に避難所運営用パーテーション配備
11 月 29 日	中止した周西公民館地区文化祭の代替事業として 11 月 29 日(日)から 12 月 6 日(日)の8日間、「周西万博週間～SusaiExpoWeek～」を開催
2021(令和3)	
1 月 7 日	2度目の緊急事態宣言が発出される
1 月 8 日	1 月 8 日から 2 月 7 日までは夜間 20 時閉館とする。マスクの着用必須に★
1 月 10 日	直前まで開催を予定していた「成人を祝う集い」が中止となる
1 月 19 日	緊急事態宣言と市内感染者数状況に鑑み、休館★
3 月 22 日	3 月 21 日の緊急事態宣言解除に伴い、再開。ただし当面夜間は 21 時閉館★
5 月頃～	高齢者などへのワクチン接種始まる
6 月 21 日	君津市が「まん延防止等重点措置」対象区域に含まれたことに伴い、時間短縮★
7 月 12 日	君津市が「まん延防止等重点措置」対象区域から外れたことに伴い、条件緩和★
8 月 2 日	千葉県での3度目の緊急事態宣言が発出されため、閉館時間短縮★
8 月 24 日	緊急事態宣言と市内感染者数状況に鑑み、休館★
10 月 1 日	9 月 30 日の緊急事態宣言解除に伴い、再開★
10 月 16 日	時間条件緩和★
10 月 25 日	平常の 22 時閉館(日曜日は 17 時閉館)に戻る★
11 月 12 日	君津市公民館、使用条件の緩和★
11 月 15 日	周西公民館、ロビーやホールの子どもたちの当日利用を再開★
2022(令和4)	
1 月 9 日	君津市民文化ホールで感染症対策を徹底した「成人を祝う集い」開催
1 月 21 日	千葉県が「まん延防止等重点措置」対象区域となったことを受け、休館★
3 月 7 日	「まん延防止等重点措置」中ではあるが、社会経済活動の両立に向け開館★
3 月 22 日	前日の「まん延防止等重点措置」解除を受け、使用条件緩和★
6 月 13 日	館内の飲食や接近・接触が必要な活動(ダンス等)についての条件緩和★
10 月 25 日	使用についての大幅な条件緩和★
11 月 5･6 日	対面の発表が3年ぶりとなる周西公民館地区文化祭開催
2023(令和5)	
1 月 20 日	3年ぶりに周西公民館を会場にした「20 歳のつどい」開催
3 月 13 日	使用条件をほぼ従来に戻す★
5 月 8 日	新型コロナウイルス感染症が「5類」移行し、日常生活が戻る

・周西公民館沿革史、HP 掲載履歴、利用者への配布通知などから作成
・★印は公民館の休館・開館・使用条件等に係る内容。詳細は表２参照

表２　休館や使用・活動の制限と緩和の経緯

	状況	マスク	名簿	定員算出	消毒作業	時間上限	閉館時間(月-土)	活動				その他
								対面	歌など呼気を出す	調理・飲食	運動・近接	
2020(令2)	3月3日休館											
	6月3日再開	着用	提出	2m間隔	職員	2時間	21:00	×	×	×	×	
	6月24日条件緩和	↓	↓	↓	利用者	↓	21:30	マスク＋飛沫防止で可	マスク	↓	マスクで可能(対面・接触は不可)	
	7月15日条件緩和	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	2m間隔、横並び等でマスク不要	手袋着用、調理後に持ち帰りで可	↓	
2021(令3)	1月8日条件変更	↓	↓	↓	↓	↓	20:00	↓	マスク必須	↓	↓	
	1月19日休館											※1
	3月22日再開	↓	↓	↓	↓	↓	21:00	↓	7/15条件に戻る	↓	↓	
	6月21日時間短縮	↓	↓	↓	↓	↓	20:00	↓	↓	↓	↓	
	7月21日時間緩和	↓	↓	↓	↓	↓	21:00	↓	↓	↓	↓	
	8月2日時間短縮	↓	↓	↓	↓	↓	20:00	↓	↓	↓	↓	
	8月24日休館											※1
	10月1日再開	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
	10月16日時間緩和	↓	↓	↓	↓	↓	21:00	↓	↓	↓	↓	
	10月25日時間緩和	↓	↓	↓	↓	↓	制限解除	↓	↓	↓	↓	
	11月12日条件緩和	↓	↓	1m間隔	↓	3時間	↓	マスク＋1m間隔で可	↓	黙食、食器の共有無し等で可	距離をあけ対面を避けることで可	
	11月15日条件緩和	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	※2
2022(令4)	1月21日休館											※1
	3月7日再開	↓	↓	↓	↓	↓	21:00	↓	↓	↓	↓	
	3月22日時間緩和	↓	↓	↓	↓	制限解除	制限解除	↓	1m間隔、横並び等でマスク不要	↓	↓	
	6月13日条件緩和	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	昼をまたぐ場合、黙食で可	感染症対策を徹底した上で可	
	10月25日条件緩和	↓	不要	通常定員	↓	↓	↓	マスクで可	↓	黙食で可	↓	
2023(令5)	3月13日条件緩和	個人判断	↓	↓	不要	↓	↓	予防対策を講じた上で可能				

※１：平日日中の窓口業務は継続。夜間・土日は閉館

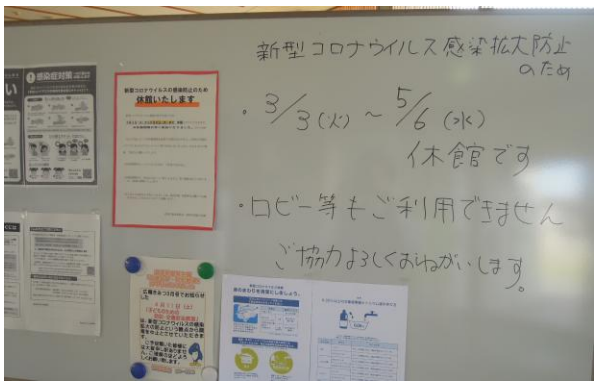
※２：ホール等の子ども利用を再開

ルからの聞き取りとして「サークル内でもめている。公民館が再開したらすぐにでも使いたい人と、まだ危ないからという人がいる。だから、公民館からダメって言ってほしいとの意見があった。」という記述がある。だれもが不安で、だれかにすがりたかった当時の様子が見て取れる。

そんな不安を分かち合い、みんなで支え合って乗り越えるためにと周西公民館が掲げたメッセージが「とりもどそう、日常。乗りこえよう、みんなで」であった。ギャラリー南側の小糸川に面した窓に大きく掲示し、ホームページや休館などを知らせるあらゆる紙媒体にこのメッセージを掲載した。このメッセージが生まれた背景には、前年の台風・大雨災害の経験が少なからず影響していたと考えられる。







最初の休館を伝えるボード2020年４月９日撮影



最初の再開を翌日に控えて　同年６月２日撮影

さて、表２にあるように、コロナ禍においては、公民館は４回の休館期間を余儀なくされた。いずれも、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置対象区域などの流れ、また市内の感染状況などにより、制限と緩和の間を揺れ動いていった様子が読み取れる。

コロナの段階的緩和が進み、2022(令和４)年３月下旬の大幅な緩和を経て、その１年後の2023(令和５)年３月に、ようやく従来の使用条件が戻ってきたのだった。

しかしながら、第４章のサークルの変遷からもわかるように、この時期、もしくはその少し後の時期に休止・解散となっているサークルが一定数ある。高齢化・役員のなり手不足などの課題を内包していたところに、コロナによる活動制限が休止・解散の引き金になってしまった例は少なくないだろう。

２　コロナ禍での公民館主催事業の模索

公民館主催事業の経緯の詳細は第２章に記載されているが、ここでは特に、コロナ禍という特殊な状況下での特筆すべき事項を整理しておきたい。

2006(平成18)年の開館以来、歩みを積み重ねてきた主催事業も、2019(令和元)年度末(2020年２～３月)には、青少年バスハイクなどの５事業が中止や延期を余儀なくされた。

再開の見通しが立たない中、2020(令和２)年４月には、高齢者学級の前年度参加者へ「つながり」を絶やさないためのはがきを送付。また、周西公民館だより「はまっぺ」では、同年６月号において電話やメールでの取材を試み、不安の中にいた住民の声や小学校

の様子などを紙面で共有した。

毎年恒例の「周西公民館地区文化祭」は、2020(令和２)年７月に中止を決定し、代替事業として「周西万博週間～SusaiExpoWeek～」を開催することとなった。密を避けるため、期間を例年の２日間から８日間へと延長し、①展示、②映像上映での舞台発表、③期間と内容を制限した模擬店が実施された。このスタイルは通常開催に戻るまで、踏襲されることとなった。なお2021(令和３)年には、住民公募の歌詞による「周西公民館の歌」が誕生し、文化祭特別企画「秋風コンサート」(映像上映)で披露された。



2020年周西万博週間のお知らせ

「二十歳のつどい」も大きな影響を受けた事業である。2021(令和３)年１月は、直前まで開催の方向で準備されていたが、１月７日の緊急事態宣言に伴い中止となった。2022(令和４)年１月は、会場を君津市民文化ホールとし、席の間隔を開けるなど感染症対策を徹底しての開催となった。

コロナ禍で大人数での集合が困難な時期に、少人数での実施として取り組まれたのが、地域学習講座「すさい・まちの変化100の記憶」(詳細 第３章)であった。2020(令和２)年９月の事業再開の最初の取組として実施された同事業は、少人数での学習会とインタビュー調査と執筆活動を軸にした事業であった。対面調査ができない時期もあり、苦労を重ねながらの実施となった。

また、ZoomなどWeb会議ツールを用いた「オンライン講座」やYouTubeでの動画配信なども実施された。その皮切りは、2020(令和２)年２月から延期されていた「防災講座」であった(同年９月７日実施)ただし、家庭でオンライン環境が十分でない方も多く、公民館会場とオンラインの併用開催であった。

しかし、この併用開催も「定員制限」下にある公民館会場での実施には困難を伴った。例えば、同年12月12日に開催した乳がん講座（周西公民館女性教室「Dear WOMAN」、Zoom使用による開催）は、会場参加希望者が部屋の定員を上回ってしまい、参加を断らざるを得ない事態も起こった。



乳がん講座（2020年12月12日開催）

2020年度は家庭教育学級の再編に取り組んでいた時期であり、君津中央公民館との合同開催を準備していた。しかしながら、感染症拡大防止のため学校では異年齢交流でさえ控えている状況下において、複数の小学校の保護者が交流する学級をあえて設けるのか、本当に今やる必要があるのかという職員間の葛藤もあり、学級再編はうまく滑り出すことができなかった。

さらに、主催事業の中で特に判断を迫られたのが、幼児家庭教育学級などで実施している公民館保育であった。ボランティアである保育協力者が、学習者の子どもを預かり、時間を共に過ごすこの仕組みは、人と人との接触は避けられない。2020年度内は保育の実施ができず、再開した2021年度からも、職員・保育協力者、そして子どもを預ける学習者も含めて、感染リスクへの対策と保育の意義を常に確認し合あう、手探りでの運営が続いた。

2020(令和２)年の秋以降からは、コロナ禍が暮らしや家庭に及ぼす影響を直視し、学びを通じて共に解決策を模索する事業が主に

家庭教育支援の分野で相次いで実施された。

・2020年11月６日　周西幼児家庭教育学級（第２回）「感染症から家族を守る　知っておきたい予防のキホン」
・2021年３月11日「児童虐待をなくすために～親として、地域住民として私たちができること～」（オンライン）：コロナ禍で高まったストレスが家庭内で親から子どもに向かいやすい今、どうすれば虐待をなくせるのか。
・2021年11月18日　幼児家庭教育学級公開講座「コロナ禍の今聞きたい　親子時間のすすめ」
・2022年12月３日　講演会「子どもの不調～コロナ禍の波紋～」

当時の試行錯誤は「非常事態」への対応であったが、オンラインツールの活用、少人数での深い学びのスタイル、そして何より「日常の尊さ」への気づきは、その後の主催事業の新たな土壌となったと言える。

３　変化した「日常」と取り戻した地域の灯

先述した「はまっぺ」2020年６月号では、「新型コロナ　あなたの生活変わったことは？」と題し、インタビュー記事を掲載している。そこには次のような声が寄せられている。（部分抜粋）



飲食店前ののぼり
2022年12月撮影

・人が多いところには子供を連れて行かないようにし、大人だけで必要な買い物をさっと済ませるようにしていました。お家に友達を呼ぶ事も控え、本当に家族としか会わなくなってきました。（30代女性・君津台）



小糸川ジョギングコース看板2020年７月撮影

・小学生の子供は、突然の学校休校によりクラスメイトと過ごす大切な時間まで奪われてしまい、卒業旅行も行けなくなり、短縮の卒業式で小学校生活をしめくくることになってしまいました。学校は休校ですが、経済や家計を維持していくためにも仕事に出なければならず、外出を制限された子供たちを残して、仕事に出る日々を過ごしていました。会社も今は全社員テレワークになりました。打合せもWEBを使ったものに変わり、今までの常識の仕事スタイルがどんどん変化しています。（女性・大和田）

・中学生の子は休校を機会にiPadを使用した通信教育に入会しました。小学生の子は私の後追いをするようになり、家にいると一日私の傍で過ごすようになったので、宿題や初めての挑戦等にゆっくり付き合うことにしています。（40代女性・君津台）

・今まで楽しみだったゲームセンターやおもちゃ巡りも出来なくなり「どうして遊びに行けないの？」「どうしてプールもお休みなの？」とよく聞かれました。（30代女性・大和田）

・日中もずーっと子供が居てママ！ママ！の連呼です。子供たちはゲーム、勉強、ケンカの毎日。私も子供たちもストレスたまりまくり。ストレス発散、運動不足解消させるのに、天気が良ければ近くのグラウンドや公園に行って子供たちと一緒に体を動かして過ごしています。（30代女性・人見）

こうした切実な声は、当時の私たちの日常がどれほど一変していたかを物語っている。

そしてコロナ禍においては、個人の暮らしや公民館事業だけではなく、地域の伝統を受け継ぐ祭礼や行事も中止を余儀なくされた。

段階的な緩和があったものの、いわゆる日常を取り戻す契機は、2023（令和５）年５月の「５類移行」だった。

同年９月の「はまっぺ」と11月の文化祭特別展ではコロナ禍を経て４年ぶりに開催となった各地域のお祭り・イベントを記録している。

こうして振り返ると、コロナが私たちから奪ったものは決して小さくなかった。しかし同時に、苦難を乗り越え「つどう・まなぶ・つながる」ことの尊さや喜びをかみしめたことを忘れずにいたい。

コロナ禍から日常へ…
2023年 各地域のお祭り・イベント

▼人見神社祭礼　2023年７月22日
*前年実施できなかった神輿渡御（みこしとぎょ）、お囃子奉納（はやしほうのう）、餅撒（まき）きが再開



餅撒き

▼大和田地区　盆踊り　2023年８月11日
（大和田公園）



大和田倶楽部の踊り披露

▼神門地区　盆踊り　2023年８月11日
（神門自治会前広場）



神門盆踊り大会

▼人見地区　盆踊り　2023年８月11日
（中新田公園）



飾りの花を準備

▼君津台地区　夏祭り　2023年８月26日
（ちょうすけやま公園・かじやま公園）



子ども神輿と山車が地区を巡る

▼坂田地区　第２回坂田ふるさと祭　2023年９月10日（五竜公園）
＊坂田地区では、前年の2022年10月10日に「第１回坂田ふるさと祭」を開催。
2023年は４年ぶりの坂田八幡神社祭礼と同日開催となった。







コロナ禍の期間中、周西公民館のホームページに掲載されていたメッセージ